

み 横浜若葉台 らいづくりプラン

YOKOHAMA WAKABADAI MASTER PLAN 2017



目 次

CONTENTS

はじめに	1
第1章．横浜若葉台マスタープランの目的・位置づけ	3
1 - 1．マスタープランの目的	3
1 - 2．マスタープランの位置づけ	4
1 - 3．マスタープランの基本的な視点	5
1 - 4．本マスタープランの構成	6
第2章．開発の経緯と特徴	7
2 - 1．開発当初の基本計画と法規制	7
2 - 2．入居当初から続く活発な自治会活動・地域活動	14
第3章．課題と資源	17
3 - 1．課題	17
3 - 1 - 1．将来に向けた内在的な課題	17
3 - 1 - 2．現場における様々な課題	20
3 - 1 - 3．将来的に予想される暮らしや環境の変化	24
3 - 2．地域の資源（強み）と暮らしの魅力	25
3 - 2 - 1．活用すべき地域の資源（強み）	25
3 - 2 - 2．ココロで感じる横浜若葉台の魅力	45
3 - 3．課題と資源の総括	51
【コラム】まちづくりワークショップの開催	52
第4章．まちづくりの目標および基本方針	53
4 - 1．まちづくりの目標	53
4 - 2．まちづくりの基本方針	53
基本方針1．中心街をエンジンとしてまちの活性化と再編を推進する	54
基本方針2．多様な主体により「地域包括子育て」を実現する	56
基本方針3．包括的な「安全・安心・健康まちづくり」を実現する	58
基本方針4．住環境と公共空間のリノベーション(カスタマイズ)を展開する	60
基本方針5．豊かな「若葉台ブランド・ライフスタイル」を構築し発信する	62
基本方針6．総合的なエリアマネジメントを発展的に展開する	64
4 - 3．目指すべきまちのあり方	66

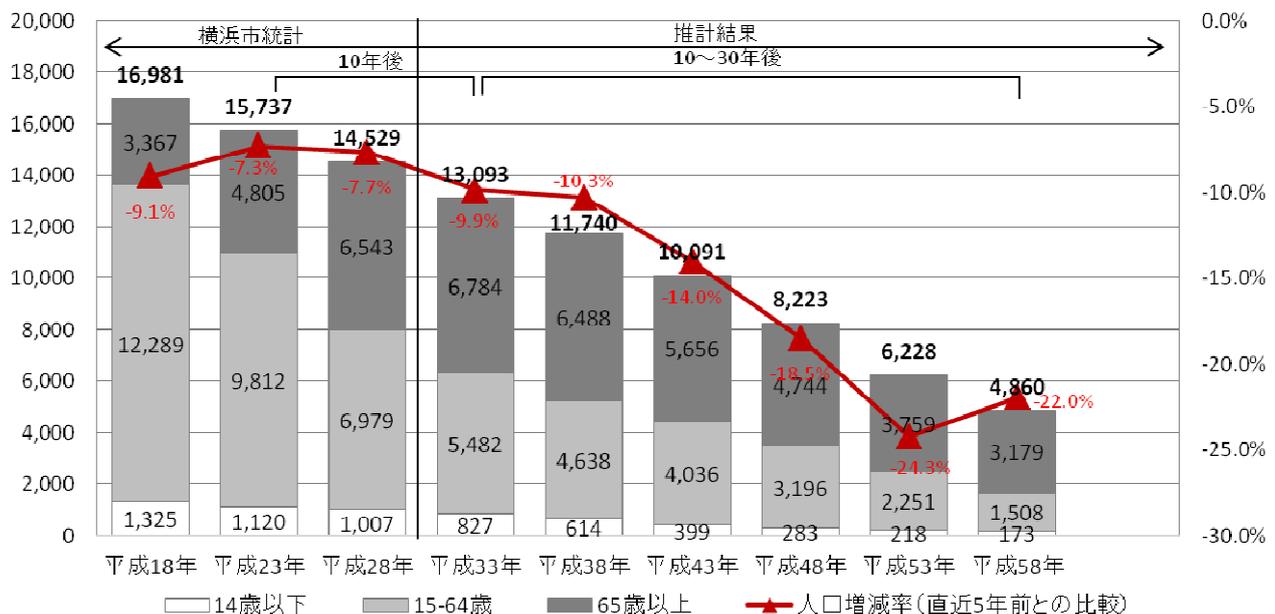
第5章．目標実現に向けた取組み	69
5 - 1．中心街をエンジンとしてまちの活性化と再編を推進する	54
5 - 2．多様な主体により「地域包括子育て」を実現する	56
5 - 3．包括的な「安全・安心・健康まちづくり」を実現する	58
5 - 4．住環境と公共空間のリノベーション(カスタマイズ)を展開する	60
5 - 5．豊かな「若葉台ブランド・ライフスタイル」を構築し発信する	62
5 - 6．総合的なエリアマネジメントを発展的展開する	64
第6章．実現に向けて	83
おわりに	87
用語集	91
アイデアカード	別冊

若葉台住民や関係者の間では、国内に複数存在する「若葉台」との差別化を図るため「横浜若葉台」という呼称が使用されていますが、本プランでは本文各章の表題部や特に他地域との差別化を意識した固有名詞として用いる場合のみ「横浜若葉台」と表記することとしました。

はじめに

- ・横浜若葉台は、当時の激しい住宅難への対応とともに、丘陵地の森や緑、生態系を保全しながら、分離された歩車道や高層住宅および様々なレクリエーション施設を計画的に配置した郊外型新市街地の理想形として神奈川県住宅供給公社（以下、「公社」とする）により計画・開発され、昭和54年から入居が開始されました。
- ・また、入居開始以来、連合自治会をはじめ、様々な組織や住民グループが多様な活動に自主的に取り組み、自らの手で住み良いまちをつくってきました。加えて、一般財団法人若葉台まちづくりセンター（以下、「まちづくりセンター」とする）による統括的な住宅の管理や運営によって、他では類をみない先進的なエリアマネジメントを展開する住宅地として国内外から多くの見学者が訪れるほどになりました。
- ・しかしながら、入居開始から約40年が経過し、郊外立地の分譲住宅を主体とした住宅地であることから、一斉入居当時の人口構成が基本的に引き継がれ、今後は急激な人口減少・少子高齢化の進行が予想され、それに伴う賃貸住宅・分譲住宅の需要低下、高齢者福祉のニーズの更なる高まり、商店街の衰退、子育て・教育環境の悪化などが懸念されます。
- ・今後、予想される世代交代に戦略的に対応するためには、人口減少社会の中でより総合的・戦略的なアプローチを行い、将来の居住者を獲得していく発想と準備が求められます。そのため、自治会や管理組合・NPOなどの団体と住民で建設当初のコンセプトを振り返り、これから向かうべき全体方針・戦略および多様な活動の効果的な関係づけや今後の取組み事項などについて検討を行い、マスタープランとしてまとめることになりました。
- ・このマスタープランは、今後の大きな将来変化への対応指針ですが、変化を乗り越える次世代への手紙でもあり、将来変化に応じて臨機応変に内容が変更されていくべきものと考えています。

将来人口推計（コーホート変化率法にて推計）



資料：横浜市統計ポータルサイト

コーホート変化率法...「コーホート」とは、同じ年または同じ期間に生まれた人々の集団のことを指し、各コーホートについて、過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法。